

研究課題：小児患者における気管切開後の経過に影響を与える気管切開前の因子の探索

1. 研究の目的

気管切開は、脳神経障害のために慢性的に人工呼吸管理が必要な場合、上気道の狭窄があり、気道確保を行う場合があげられます。しかし、気管切開を行う患者さんの背景は様々であり、また気管切開後の経過も様々です。

気管切開を行った患者さんの経過が気管切開を行う前の状態にどのような影響を受けるのか、明らかにすることが目的です。

2. 研究の方法

2017年05月から2025年10月までに当院で気管切開術を行った患者さんが対象となります。

診療録から、患者さんの基本情報、治療内容、経過中の医療的ケアの頻度や入院頻度の情報を調べまとめます。

3. 研究期間

2025年11月（倫理委員会で承認を得られた日）から2028年10月までを予定しています。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

気管切開を当院で行った患者さんについて、手術を行う前の様子と後の様子を比較するため、電子カルテ、重症・急性期患者情報システムより日々の診療録や手術記録（基本情報、治療内容、入院中のケアの様子、各種検査結果）を用います。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者さんの名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究代表機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：集中治療科 医師 大金 佑輔

研究分担者：集中治療科 科長 新津 健裕

共同研究機関：聖マリアンナ医科大学 小児科学講座

研究分担者：小児集中治療分野 教授 川口 敦

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2026年5月1日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）